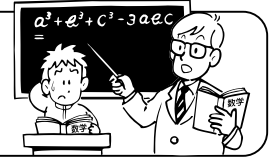


第2学年 数学科 シラバス



数学科の学習の目標

- 数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深める。
- 数学的な技能を習得する。
- 事象を数学的に考察する力を高める。
- 数学的な活動の楽しさを味わう。

数学科の学習の特色

- 1年週4時間、2年週3時間、3年週4時間の授業を行います。
- 学習の系統性を大切にし、3年間の学習を通して、次の点を重点目標としています。

「**基礎学力の定着、技能の習熟を図る**」
「**数学的な見方や考え方のよさを知り、自ら考え、解決しようとする態度を育てる**」

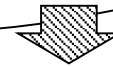
数学の授業の受け方

- 毎時間の授業では、教科書、ノート、問題集、定規等、持ち物を忘れないこと。
- 授業中、必要なことはノートにメモをとり、整理しておくこと。
- 問題をやる際は、問題文をよく読んで、まず自分で考えてみること。
- 他の人の考えから学べることがあります。授業中に他の人が発表しているときはよく聞くこと。
- 「なぜそうなるのか」を理解すること。
 - 【 予習 】
前もって教科書を読んでおくだけでも授業の内容が分かりやすくなります。
 - 【 復習 】
授業のノートを見直しておく。
問題集の問題をくり返し解いてみる。

数学科の評価の観点

◆知識・技能

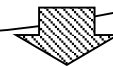
- 数量・図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解している。
- 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。



- 数量や図形に関して、基本的な言葉や用語の意味を理解している。
- 定理について、意味や根拠を理解している。
- 計算の方法を理解して、正解を導き出すことができる。
- 図形の性質を使って、求めたい角の大きさや、辺の長さを知ることができる。

◆思考・判断・表現

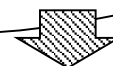
数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。



- 課題を、数学的に、筋道だてて考えることができる。
- 課題解決の過程を、自分の言葉や図や式を利用して説明できる。

◆主体的に学習に取り組む態度

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。



- 課題への取り組みの様子
- 授業への参加の様子や学習への姿勢

これら3つの観点を、授業、定期テスト、小テスト、ノート提出、ワーク提出、その他の課題提出で、評価していきます。

2年生		◆学習内容◆	◇学習のわらい◇
1 学期	4月	1章 式の計算 1 式の計算	○多項式の加減、多項式と数の乗除、単項式と単項式の乗除の計算について学びます。
	5月	2 文字式の利用	○等式を変形することや、数量の関係や性質を文字式を用いて説明することを学びます。
	6月	2章 連立方程式 1 連立方程式	○連立方程式の解き方を学びます。
	7月	2 連立方程式の利用	○具体的な問題を、連立方程式を利用して解くことを学びます。
2 学期	8月 9月	3章 一次関数 1 一次関数とグラフ	○一次関数の意味やその変化の特徴を学びます。
	10月	2 一次関数と方程式 3 一次関数の利用	○一次関数の式、表、グラフの特徴と関連を学びます。 ○二元一次方程式のグラフについて学びます。
	11月	4章 図形の調べ方 1 平行と合同 2 証明	○問題解決に一次関数の式、表、グラフを活用することを学びます。 ○平行線と角の性質や、多角形の内角や外角の和などの図形の特徴を学びます。
	12月	5章 図形の性質と証明 1 三角形	○三角形の合同条件を学び、それらを活用して図形の性質を証明することを学びます。
3 学期	1月	2 四角形	○二等辺三角形の性質、直角三角形の合同条件を学びます。 ○平行四辺形の性質、平行四辺形になるための条件を学びます。
	2月	6章 場合の数と確率 1 場合の数と確率	○学んだことをいかして、図形の性質を証明することを学びます。 ○身の回りにおける確率について、樹形図や表に整理し、それをもとにして求めることを学びます。
	3月	7章 箱ひげ図とデータ活用 1 箱ひげ図	○データを箱ひげ図に表すことで、傾向を読み取り、問題を解決する方法について学びます。
年間授業時数 105時間（週3時間）			

数学の家庭学習のすすめ

- 2年生の数学は、連立方程式、一次関数、図形と、中学校3年間の学習の中で核となる学習を行います。一次関数では「式」「表」「グラフ」の関係に注目。図形の学習では「図形の性質」「証明の書き方」をしっかりと学びましょう。
- 1週間の時間数は3時間と少なくなります。学習量を確保するためにも、家庭学習に力をいれましょう。



計算問題をくり返し練習しよう。
「できる」という自信が次の問題に
取り組む意欲に変わるよ！



問題集の問題をていねいに解きま
しょう。一度しっかり考え、できないとこ
ろは解答を参考に理解しましょう。